

1 主題設定の理由 ～なぜPTCA活動か～

本校は校舎北側には烏帽子岳、校地の側には島田川の分流である石光川が流れる、「山高く、水清し」豊かな自然に恵まれた学校である。開校139年の歴史をもち、明治時代の高水村塾時代からの教えである「楽学」の精神を脈々と受け継いでいる。地域住民の郷土に対する誇りは高く、地域・保護者の小学校に対する思いも熱いものがある。

そのような恵まれた環境の中で、全校児童95名は、日々充実した学校生活を送ることができている。子どもたちは純朴で、礼儀正しく、何事にも一生懸命に取り組むことができる。

保護者も大変協力的で、これまでの先輩保護者が構築されてきたPTA活動に献身的に取り組んでくださる。また地域住民も学校に協力的な方が多く、快く学校支援の手を差し伸べてくださる。

これらの協力的なPTAや地域（学校運営協議会を中心としたcommunity）の存在は、本校最大の強みであり、両者の活動を有機的につなげ、協働的なものにする活動を推進していくことで、高水小ならではの教育を展開できるのではないかと考えた。

2 PTCA活動推進による予想される効果

(1) 子どもたちへの豊かな学びの提供

子どもたちの学びは教室に限るものでなく、様々な環境・人・ものを工夫することにより、無限に広がっている。高水地区の豊かな自然環境、協力的なPTAと地域住民との関わりを通じて学ぶことで、子どもたちの高水地区に対する郷土愛や周囲の人々への感謝の気持ち、高水地区に対して何ができるかを創造する社会貢献への意欲などを醸成することができるのではないかと考えた。

(2) PTA活動の変革・改善

昨今の社会課題の一つとして少子化があげられている。この問題は高水小も例外でなく、令和元年度が130名あまりだった全校児童数も令和6年度には87名となる予定である。当然家庭数も減少する中で、従来のPTA活動のあり方に見直しを図ることが喫緊の課題となっている。専門部数の見直しや活動内容の精選などを進めているが、そのPTA活動に地域（コミュニティ）の力を注入することができれば、PTA活動の充実と活動改革にもつながり、大きな助けになるのではないかと考えた。

(3) コミュニティの生きがいの醸成

地域住民から「学校への関わり方が分からない」「私みたいな者が学校に行っているのか」と言った意見を耳にすることがあった。以前から「学校に行こうでい」と銘打ち、毎月15日に学校を開放する取組を継続していた。しかしながらこの数年間、コロナ禍の影響もあり、来校者数はこちらが期待するほど伸びなかった。そこで、PTA行事の日にコミュニティの協力を得る形にすることで、目的が明確になり、コミュニティの方々の参画意識や満足度も高まるのではないかと考えた。

3 活動記録

(1) 芋の収穫体験

3年前まで一部の地域住民のご厚意とご尽力で、「芋の苗植え」と「芋掘り」をそれぞれ春と秋に子どもたちに体験させることができていた。課題として、一部の地域住民の負担が大きく、年々高齢化が進む中でこの活動自体を持続可能なものに変えていく必要があった。

そこで2年前から、PTCA活動の一つとして、PTAとコミュニティと子どもたちが一体となって、芋の苗植えから収穫までに関わることにした。

4月8日・・・種芋植え、ビニールかけ作業

PTA、コミュニティ、児童からボランティアを募り、4月初めの土曜日に作業を実施した。種芋を育てるという最初の過程に携わることは初めての経験という児童、保護者がほとんどで様々な発見があり、とても貴重な体験になった。また、保護者にとっても、芋づくりの大変さと感謝の気持ちを改めて感じる事ができた。一部の地域住民にとっても、多くのPTAや子どもたちが作業に携わることで、作業負担の大幅な軽減と芋づくりのやりがいを直に感じる事ができた。



6月20日・・・芋の苗植え

3学年をグループにして（6年と1年と3年、5年と2年と4年）2時間に渡って芋の苗植え作業を行った。コミュニティの方々に苗植えの指導をしていただき、多くの保護者も子どもたちと共に作業に参加した。



11月2日・・・芋掘り準備 芋のつる切り作業

ボランティアの保護者、コミュニティ、5年生児童で実施した。芋づるを切り落とし、後日の芋掘りに備えた。今年度は児童も参加したことで、作業時間も短縮できた。



11月13日・・・芋掘り

3学年をグループにして（6年と1年と3年、5年と2年と4年）2時間に渡って芋掘り作業を行った。コミュニティの方々に芋掘りの指導をしていただき、多くの保護者も子どもたちと共に作業に参加した。高学年が低学年の子どもたちに優しく教えてあげる場面も多く見られた。また、作業を通じて、保護者、コミュニティ、児童がふれ合うことができ、親睦を図ることもできた。



(2) PTCAによる環境整備作業

保護者、教職員、コミュニティが連携して5月、7月、8月、11月と定期的に草刈りや樹木の選定、花壇整備を実施してきた。

環境整備作業をとおして保護者とコミュニティ、教職員がふれあう機会が増え、新たな交流も生まれた。

5月14日・・・校地草刈り

7月22日・・・校地草刈り、校地北側垣根剪定

8月20日・・・校地草刈り、花壇整備

11月 9日・・・前庭樹木剪定、花壇整備



4 成果と課題

(1) 成果

今年度も芋づくりや環境整備作業に今まで以上に多くの児童、PTA、コミュニティが関わることができたことにより、子どもたちにとっては、PTAやコミュニティの方々への感謝の気持ちを新たにするとともに、自分たちにも何かできることはないか、考えるきっかけにもなった。

また、PTAにとっては、コミュニティの活動に携わることで、子どもたち同様感謝の気持ちを抱くとともに、コミュニティと協働する喜びを肌で感じる事ができた。

そして、コミュニティにとっては、芋づくりや環境整備作業を通じて、子どもたちやPTAを支援することにやりがいを感じる事ができた。

(2) 課題

子どもたちや保護者は、学校生活の様々な場面で地域の方々に支えられていることを実感している。地域人材の高齢化も進んでおり、今後はますます保護者の協力が必要な場面が増えてくる。地域のボランティア活動に依存することなく、地域と保護者が参加しやすいように内容や日程等も見直ししながら活動を推進していきたい。

最後に、このような研究の機会を支援していただいた山口県教育会に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。